

## 【11月、京都にて開催】世界遺産認定後、中国国外初の大規模シルクロードの展覧会

日中平和友好条約45周年記念  
世界遺産 大シルクロード展

会期／2024年11月23日(土・祝)～2025年2月2日(日) 会場／京都文化博物館 4・3階展示室

2024年11月23日(土・祝)～2025年2月2日(日)の期間、京都文化博物館にて「日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展」を開催いたします。

シルクロードはユーラシア大陸を横断し東洋と西洋を結んだ大交易路と一般に知られています。自動車も汽車もない時代に、草原や砂漠、雪山を越え、時には命をかけて人や物がここを往来しました。地球の四分の一の周にもおよぶ壮大な「旅路」は、人類の歴史においても重要な役割を果たしてきたと考えられています。

シルクロードの研究は19世紀後半より始まり、約140年の歴史がありますが、日本では特に半世紀程前のテレビ番組の印象が深く、砂漠の彼方や最果ての地に多くの人が憧れを抱くようになりました。学術的にも、奈良の正倉院に伝わる宝物の故地として、ペルシアや中央アジア、ひいてはギリシア・ローマに起源する文化が注目され、交流の歴史が研究されてきました。そして、近年では、シルクロードが2014年にユネスコの世界遺産に認定されました（「シルクロード：長安-天山回廊の交易路網」）。中国ではこれを契機としてシルクロードへの関心が高まり、学術調査や研究はこれまでにない勢いで進められ、新しい発見が続いています。

本展覧会は、この世界遺産認定後、中国国外で初めて行われる大規模なシルクロードの展覧会です。世界遺産に登録された中国国内の遺跡を紹介し、また日本初公開の文物を含むシルクロード文化の精華を公開します。今回は、中国側のご厚意により、これまでにない規模でシルクロードの優品が日本にもたらされます。シルクロードを通じて、日本と中国が長い文化交流の歴史をもつことを、この展覧会であらためて感じていただけたら幸いです。



[14] 敦煌の鳴沙山 (画像提供：山田勝久)

## 展覧会の見どころ

- いよいよ最終会場！ 世界遺産認定後、中国国外で初めて行われる大規模なシルクロードの展覧会
- 中国国内27カ所の博物館、研究所からシルクロードの文物、関連資料など約200点出品
- 金銀宝飾品、青銅器、ガラス、陶磁器、壁画、絵画、染織、経典、仏像など一級文物44点を展観

## 展示構成

## 第1章 民族往来の舞台 ～胡人の活動とオアシスの遺宝～

中国では北方や西方の騎馬遊牧民を古来「胡(こ)」（胡人(こじん)）と呼んできました。これらはイラン系、トルコ系、モンゴル系など様々ですが、なかでもイラン系のソグド商人は隊商（キャラバン）を組んでオアシス都市を往来し、中国～ローマをつなぐ東西交易だけでなく、文化や宗教の交流にも大きな役割を果たしました。また、北の突厥(とつげつ)、南の吐蕃(とばん)も勢力を増し、独特の文化を残しています。この章では、新疆ウイグル自治区、甘粛省、寧夏回族自治区、青海省、遼寧省などの博物館が所蔵する、西方や北方の香り高い遺宝の数々を紹介します。



【1】一級文物《<sup>めのうどうがんはい</sup>瑪瑙象嵌杯》  
5-7世紀/ 1997年イリ州昭蘇県ポマ古墓出土/イリ州博物館  
新疆ウイグル自治区昭蘇県の墓から出土した金製の杯で、虎を象った把手や赤い瑪瑙の象嵌が豪華な印象を与えます。草原地帯の遊牧民の文化との関連が指摘されています。



【2】一級文物《マニ教ソグド語の手紙》  
11世紀初め/ 1981年トルファン・ベゼクリク石窟第65窟出土/トルファン博物館  
マニ教の僧侶に宛てた縦書きのソグド語の手紙です。受取人の僧侶を象徴する白い帽子や、楽人の姿も描かれています。ソグド語はシルクロードの国際共通語として重要な役割を果たしました。



**シルクロードのコイン**  
**【3】《ササン式銀貨》**

7世紀/烏恰県出土/新疆ウイグル自治区博物館

シルクロードの各地でペルシアやローマ、クシャーンなど西方の金銀貨が発見され、流通の実態を知るうえで重要です。それらは西方の王や神の姿が表され、倣製品も作られました。



**砂漠の正倉院—アスターナ古墓群**

からはなもんにしきくつ

**【4】一級文物《唐花文錦鞋》**

唐・8世紀/ 1968年トルファン・アスターナ古墓381号墓出土/新疆ウイグル自治区博物館

色鮮やかな唐花(からはな)文の錦でつくった靴です。つま先が高いのは長いスカートの裾を引っ掛けるため、中国の影響です。よく似た靴が奈良の正倉院宝物にも見られます。

**第2章 東西文明の融合 ～響き合う漢と胡の輝き～**

漢の武帝の時に東西の交通路が開かれ、以後、大都市の長安や洛陽を中心に西方の文化が採り入れられていきました。多民族国家といわれる唐時代になると中国に居住する胡人も増え、国際色豊かな社会状況を反映して、異国風の装いや美術、音楽が流行しました。この章では、唐時代の名品を中心に、甘肅省、陝西省、河南省、山西省、河北省、浙江省、江西省の博物館の所蔵品を紹介します。



しゃばぎじょうたい

**【5】《車馬儀仗隊》**

後漢・1-3世紀/ 1969年武威市雷台墓出土/甘肅省博物館

甘肅省武威の漢代の墓から出土した青銅製の車馬隊です。墓の主人や夫人の車を騎馬隊が囲み、馬は口を開いて激しくいなまわっています。外敵から国をまもる強力な騎馬軍団を髣髴とさせます。

※イメージ写真 (9体のみ出品)



ほうしゅはい

**【6】一級文物《鳳首杯》**

唐・8世紀/ 1982年西安市韓森寨出土/陝西歴史博物館

西方世界で愛用されたリトン(角製の杯)を真似た陶器です。把手部分を鳳凰の頭の形につくり、器の全面に浮き出す華やかな植物文を、鮮やかな三彩釉がさらに引き立っています。



じょしょう

**【7】一級文物《女子俑》**

唐・8世紀/ 1959年西安市中堡村唐墓出土/陝西歴史博物館

ふくやかな顔と優雅な立ち姿は典型的な唐美人を表現しています。藍色の襦(肌着)や長いスカート、斜めに掛けるショールなどには鮮やかな釉(三彩)をかけ、顔や頭は彩色を施しています。



けんぼす

**【8】一級文物《献馬図》**

唐・乾封(けんぷう)元年(666) / 1991年陝西省礼泉県章貴妃墓出土/昭陵博物館

唐の第二代皇帝太宗の妃の墓に描かれていた壁画です。「深目高鼻」で筒袖の胡服をまとう外国人が西方馬の首を押さえながら献上する場面を、力強い筆遣いで描いています。



ろっかけいあつしきはい

**【9】一級文物《六花形脚付杯》**

唐・8世紀/山西博物院

六花形の脚付きの杯。側面には乗馬や狩りを楽しむ人々、獣や鳥、花などをあらし、余白を細かな魚々子(ななこ)(円文)で埋めています。燦然と輝く金器は唐時代の華やかさを伝えています。

### 第3章 仏教東漸の遙かな旅 ～眠りから覚めた經典と祈りの造形～

西暦1世紀ごろシルクロードを通して中国に伝えられた仏教は、經典の漢訳によって広く理解されるようになりました。また、仏像や仏教絵画の制作も盛んになり、地域や民族の趣向に適應して新たな発展を遂げました。この章では、トルファンと敦煌で発見された經典や、新疆、敦煌、さらに中原の各地で収蔵されている仏教美術の優品を紹介します。



【10】一級文物《妙法蓮華經卷第一 断簡》

北朝・5-6世紀 / 1900年敦煌莫高窟出土 / 敦煌研究院  
 砂漠の大画廊と称される敦煌莫高窟(とんこうぼくこうつ)から1900年に偶然発見された敦煌文書の一つで、北朝期の貴重な写經の遺品です。『妙法蓮華經』(法華經(ほけきょう))は東アジアで広く信仰されました。

【11】《觀世音菩薩普門品 断簡》

魏氏高昌国・建昌5年(559) / 1980年トルファン・ベゼクリク石窟出土 / トルファン博物館  
 トルファンのベゼクリク石窟で発見された『觀世音經』の断簡で、559年に書写されています。トルファンは5-7世紀に仏教を奉じた高昌国が栄え、玄奘三蔵も立ち寄っています。



【12】《如来像 壁画》  
 7-8世紀 / 2002年ダングンウイリク CD4仏寺遺跡出土 / 新疆ウイグル自治区博物館

ダングンウイリクの7-8世紀の仏教遺跡から2002年に発見された如来像壁画で、丸い顔と鋭い視線が印象的です。輪郭線の赤色や、眉と髪に施された青色が鮮やかです。



【13】一級文物《菩薩坐像》  
 唐・7-8世紀 / 2000年洛陽市奉先寺遺跡出土 / 龍門石窟研究院

河南省の世界遺産龍門石窟に近い奉先寺(ほうせんじ)遺跡から出土した唐時代の菩薩像です。胴を極端に絞る美しいプロポーションで、右足を下す自然な体勢や豪華な装飾品はインドのグプタ美術の影響です。

## 開催概要

- [展覧会名] 日中平和友好条約45周年記念 世界遺産 大シルクロード展
- [会 期] 2024年11月23日(土・祝)～2025年2月2日(日) 56日間
- [会 場] 京都文化博物館 4・3階展示室 〒604-8183 京都府京都市中京区三条高倉
- [開室時間] 10:00～18:00 (金曜日は19:30まで) ※入場はそれぞれ30分前まで
- [入場料金] 一般 1,600円 (1,400円) | 大高生 1,000円 (800円) | 中小生 500円 (300円) (税込) ※ ( ) 内は前売および20名以上の団体料金。 ※未就学児は無料 (ただし、要保護者同伴)。  
 ※学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。 ※障がい者手帳などをご提示の方と付き添い1名までは無料。  
 ※上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます (ただし催事により有料の場合があります)。
- [休 館 日] 月曜日 (祝日の場合は開館、翌日休館)、12月28日～1月3日
- [主 催] 京都府、京都文化博物館、中国文物交流中心、毎日新聞社、京都新聞、MBSテレビ
- [共 催] 京都市
- [企画協力] 黄山美術社
- [企 画] 東京富士美術館
- [後 援] 外務省、中国人民対外友好協会、中国大使館
- [お問合せ] 京都文化博物館 Tel. 075-222-0888 (代表)  
<https://www.bunpaku.or.jp>

※記載内容に変更が生じる場合があります。最新の情報は博物館公式サイトでご確認ください。

【広報用画像クレジット一覧・申込書】 日中平和友好条約45周年記念「世界遺産 大シルクロード展」

本展の展示物等の画像を、広報素材としてご提供いたします。  
下記、申込フォームよりお申込ください。

【広報用画像申込フォーム】

<https://forms.gle/xvzxXDTafhdz38iH9>

※難しい場合は申込書に必要事項をご記入のうえ、広報事務局までご送付ください。



【画像使用全般についての注意】

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的とした報道に限らせて頂きます。ご使用可能期間は本展会期終了までです。
- ・ご使用の際は、展覧会名、会期、会場名、所定の作品データ、所定のクレジットを必ずご掲載ください。
- ・画像はすべて全図で使用してください。トリミング、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・本展終了後の掲載、画像の二次使用はできません。本展会期中であっても再放送や転載をされる場合は広報事務局にご連絡ください。
- ・展覧会基本情報と広報画像の確認のため、校正を本展広報事務局にお送りくださるようお願いいたします。
- ・インターネットでご紹介いただく場合はコピーガードをかけてご使用のうえ掲載URLをお知らせください。
- ・掲載誌・紙（ご紹介号）、掲載URL、同録DVDほかを下記広報事務局まで1部お送りください。

No.	クレジット・作品名・年代・所蔵先
1□	一級文物《瑪瑙象嵌杯》5-7世紀/ 1997年イリ州昭蘇県ボマ古墓出土/イリ州博物館
2□	一級文物《マニ教ソグド語の手紙》11世紀初め/ 1981年トルファン・ベゼクリク石窟第65窟出土/トルファン博物館
3□	《ササン式銀貨》7世紀/ 烏恰県出土/新疆ウイグル自治区博物館
4□	一級文物《唐花文錦鞋》唐・8世紀/ 1968年トルファン・アスターナ古墓381号墓出土/新疆ウイグル自治区博物館
5□	《車馬儀仗隊》後漢・1-3世紀/ 1969年武威市雷台墓出土/甘粛省博物館
6□	一級文物《鳳首杯》唐・8世紀/ 1982年西安市韓森寨出土/陝西歴史博物館
7□	一級文物《女子俑》唐・8世紀/ 1959年西安市中堡村唐墓出土/陝西歴史博物館
8□	一級文物《献馬図》唐・乾封元年（666）/ 1991年陝西省礼泉県韋貴妃墓出土/昭陵博物館
9□	一級文物《六花形脚付杯》唐・8世紀/山西博物院
10□	一級文物《妙法蓮華経巻第一 断簡》北朝・5-6世紀/ 1900年敦煌莫高窟出土/敦煌研究院
11□	《観世音菩薩普門品 断簡》魏氏高昌国・建昌5年（559）/ 1980年トルファン・ベゼクリク石窟出土/トルファン博物館
12□	《如来像 壁画》7-8世紀/ 2002年ダングンウイリクCD4仏寺遺跡出土/新疆ウイグル自治区博物館
13□	一級文物《菩薩坐像》唐・7-8世紀/ 2000年洛陽市奉先寺遺跡出土/龍門石窟研究院
14□	敦煌の鳴沙山（画像提供：山田勝久）

貴社名／	
お名前／	
部署／	ご所属／
貴媒体名／	媒体種／
媒体発行・運営社名	
サイトURL／	
掲載号・露出予定日／	月号（ 月 日号）／ 月 日発売予定 □WEBへの転載あり
TEL／	FAX／
E-MAIL／	
媒体プレゼント用チケット／□希望（2組4名まで） ※1点以上の広報用画像使用必須 ※提供枚数に達した場合、提供を終了いたします ※発送は開幕直前になります お送り先／〒	

報道に関するお問合せ

「世界遺産 大シルクロード展」広報事務局（ネネラコ内）  
E-MAIL / [silkroad-kyoto@nenelaco.com](mailto:silkroad-kyoto@nenelaco.com) TEL / 06-6225-7885 FAX / 06-7635-7587  
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-15-5 TKビル